

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
鈴木匡子	身体認知障害の評価	田川皓一 池田学	高次脳機能障害の評価	西村書店	東京	2020	321-326
成田渉、鈴木匡子	側性化	大沢愛子	高次脳機能障害 ビジュアル大事典	MCメディア カ出版	東京	2020	18-19
鈴木匡子	失語症の評価/診断医学面の情報	藤井郁代、立石雅子、菅野倫子	失語症学 第三版	医学書院	東京	2021	168-175
鈴木匡子	視覚・視覚性認知の障害と評価法	梅田聡	神経・生理心理学	遠見書房	東京	2021	68-75
渡邊 修	就労・就学のためのリハビリテーション医療	久保俊一 三上靖夫	回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト	医学書院	東京	2020	84-87
渡邊 修	身体意識・病態認知の障害による日常生活場面での問題と対応	大沢愛子	高次脳機能障害 ビジュアル大事典	メディカ出版	東京	2020	181-182
渡邊 修	外傷性脳損傷(高次脳機能障害)	久保俊一 佐伯 覚	社会活動支援のためのリハ医学・医療テキスト	医学書院	東京	2021	99-102

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
鈴木匡子	神経心理学的評価 失語	神経治療学	37	in press	2020
渡邊 修	後天性脳損傷者の自動車運転再開に向けた診断と指導 合併症	臨床リハ	29(11)	1126-1133	2020
渡邊 修	高次脳機能障害のある方への社会復帰支援	MB Med Reha	260	39-46	2021
渡邊 修	高次脳機能障害に対するリハ治療—患者・家族会との連携—	リハ医学	58(4)	418-427	2021

Aso T, Sugihara G, Murai T, Ubukata S, Urayama SI, Ueno T, Fujimoto G, Thuy DHD, Fukuyama H, Ueda K.	Reply: A transvenous pressure gradient mechanism behind ventriculomegaly.	Brain	Sep 1;143(9)	e75.	2020
Aso T, Sugihara G, Murai T, Ubukata S, Urayama SI, Ueno T, Fujimoto G, Thuy DHD, Fukuyama H, Ueda K.	A venous mechanism of ventriculomegaly shared between traumatic brain injury and normal ageing.	Brain	Jun; 143(6)	1843-1856.	2020
Ubukata S, Oishi N, Higashi T, Kagawa S, Yamauchi H, Okuyama C, Watanabe H, Ono M, Saji H, Aso T, Murai T, Ueda K.	Spatial patterns of amyloid deposition in patients with chronic focal or diffuse traumatic brain injury using 18F-FPYBF-2 PET.	Neuropsychiatric disease and treatment	Nov 12;16	2719-2732.	2020
廣瀬綾奈, 中島友加, 小倉由紀, 湧井敦子, 太田令子, 片桐伯真.	急性期・回復期の高次脳機能障害の子どもをもつ保護者の支援ニーズ	高次脳機能研究	40巻(1)	119	2021/3月